

第3次浜松市多文化共生都市ビジョン（案）に対するパブリック・コメント 主な意見と市の考え方

意見（ページ等） 内容	案に対する 反映度	市の考え方
<p>◆目指す将来像に関する意見（P.2 提案2）</p> <p>目指す将来像の解説の「それぞれのライフステージにおいて誰もが安心して生活できる地域で社会参画が進み、多様な人材とともに都市を発展させる価値創造型の多文化共生社会を目指します」という箇所がわかりづらい。</p>	案の修正	<p>以下のとおり修正する。</p> <p>「それぞれのライフステージにおいて誰もが安心して生活できるようにこれまでの生活支援などの課題解決型の多文化共生の取組を充実させます。併せて、外国人材の活躍をさらに促進し、多様な人材とともに都市を発展させる価値創造型の多文化共生社会を目指します。」</p>
<p>◆重点取組（総合的・体系的な日本語教育の推進）に関する意見（P.3 提案4）</p> <p>地域日本語教育の体制整備をしていることをより前面に出し、国が示す「日本語教育の参照枠」や「自立した言語使用者」について記載してはどうか。</p>	案の修正	日本語能力の熟達度のレベルを示す「日本語教育の参照枠」とその中で中級レベルを指す「自立した言語使用者」について明記する。
<p>◆次世代の育成・支援に関する意見（P.6 要望9）</p> <p>青少年期の前からキャリア教育・キャリア支援が必要である。また、保護者向けの啓発も必要である。</p>	案の修正	保護者向けの啓発は現在も取り組んでいるため、その点を明記する。
<p>◆多様性を活かした文化・創造活動の促進に関する意見（P.8 要望17）</p> <p>外国人市民による自らの文化発信に関して、ステレオタイプな価値観を押し付けないように細心の注意が必要である。また、外国人市民が企画実施するためにはある程度の仕掛けや支援が必要である。</p>	今後の参考	外国人市民の持つそれぞれの背景から生まれる多様な価値観やアイデアを生かしていくことが重要だと考える。また、外国人市民自らの企画に関しては、活用できる助成を周知するなどの支援に努めていく。
<p>◆メンタルヘルスに関する意見（P.13 要望28）</p> <p>新型コロナウイルス感染拡大以降、心のケアの必要性が高まっている。外国人に対する心理的ケアのニーズに応えるため、より多くの曜日や時間帯の提供を拡大することが重要だと思う。</p>	今後の参考	<p>現在、ポルトガル語でメンタルヘルス相談ができる常設窓口を浜松市多文化共生センター内に開設している。また、市内の外国人学校には市から心理カウンセラーを派遣している。</p> <p>今後は、メンタルヘルスに関わる支援者の養成を実施することで、外国人市民の心理ケアに対応していく。</p>
<p>◆地域共生に関する意見（P.6 要望7）</p> <p>自治会からのお知らせはすべて日本語である。翻訳ややさしい日本語版があれば外国人市民は理解しやすくなり、日本人側も案内しやすくなる。やさしい日本語がもっと浸透していくといいと思う。</p>	盛り込み済	引き続き、自治会の回覧文書の翻訳支援や自治会からの相談対応等に取り組むとともに、転入した外国人への生活に関する案内などにおいてやさしい日本語の活用を推進していく。

第3次浜松市多文化共生都市ビジョン(案) に対するご意見ありがとうございました

市民の皆さんからの提出意見と
その意見に対する市の考え方の公表



令和4年11月から12月にかけて実施しました第3次浜松市多文化共生都市ビジョン(案)に対する意見募集(パブリック・コメントの実施)に貴重なご意見をいただきましてありがとうございました。

意見募集を行った結果、市民等20人・3団体から52件のご意見が寄せられましたので、それらのご意見とご意見に対する市の考え方を公表いたします。

ご意見につきましては、項目ごとに整理し、適宜要約し掲載しております。

また、お寄せいただきましたご意見を考慮して、「第3次浜松市多文化共生都市ビジョン」を策定し、令和5年4月からの実施を予定しています。今後とも、多文化共生の推進に対するご理解とご協力をお願いいたします。

なお、この内容は、市ホームページ (<https://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp>) にも掲載しております。

令和5年2月

浜松市企画調整部国際課

〒430-8652 浜松市中区元城町103-2

TEL 053-457-2359

FAX 050-3730-1867

Eメールアドレス

kokusai@city.hamamatsu.shizuoka.jp

募集結果

【実施時期】	令和4年11月22日から令和4年12月21日			
【意見提出者数】	20人・3団体			
【意見数内訳】	52件 (提案15件、要望32件、質問3件、その他2件)			
【提出方法】	持参(0) 郵便(0) 電子メール(23) FAX(0) 説明会等(0)			
【案に対する反映度】	案の修正	11件	今後の参考	24件
	盛り込み済	14件	その他	3件

解説編 目次

第1章	第3次ビジョンの策定にあたって		
1	第3次ビジョン策定の趣旨		
2	第3次ビジョンの位置づけと計画期間		
第2章	環境分析		
1	第2次ビジョンの取組の成果		
2	外国人を取り巻く環境・状況と現在の課題		
	(1) 社会経済環境の変化 (意見数1件)	・・・・・・・・	2ページ
	(2) 国の動向		
	(3) 浜松市の現状 (意見数1件)	・・・・・・・・	2ページ
	(4) 国内他都市の動向		
	(5) 海外の動向		
3	今後の方向性		
第3章	第3次ビジョンの内容		
1	目指す将来像 (意見数1件)	・・・・・・・・	2ページ
2	推進方針・体制 (意見数1件)	・・・・・・・・	3ページ
3	施策体系		
4	重点取組 (意見数3件)	・・・・・・・・	3ページ
5	推進施策		
	(1) 認め合い、手を取り合い、ともに築くまち (協働) (意見数10件)	・・・・・・・・	4ページ
	(2) 多様性を生かして新たな価値・文化を生み出すまち (創造) (意見数11件)	・・・・・・・・	6ページ
	(3) 誰もが快適に暮らせるまち (安心) (意見数22件)	・・・・・・・・	9ページ
6	取組内容一覧		
	<用語解説>		
	その他 (意見数2件)	・・・・・・・・	14ページ

第2章 環境分析

2 外国人を取り巻く環境・状況と現在の課題

(1) 社会経済環境の変化（意見数1件）

要望 1	「多様性・包摂性のある社会実現の動き」のダイバーシティ経営、イノベーションなどが少し抽象的で難しい。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を反映させ、以下のとおり修正します。

《修正内容》

〈修正前〉

「…企業のダイバーシティ経営が広がっています。…イノベーションを生み出し、…」

〈修正後〉

「…企業のダイバーシティ経営が広がっています。…イノベーション（技術革新など）を生み出し、…」

(3) 浜松市の現状（意見数1件）

提案 1	日本に定着している外国にルーツを持つ子供に対する支援については、日本で高等教育を受けた外国人の専門人材養成の準備をしてほしい。持続性のある専門人材がいれば、増加する外国人の子供と保護者への対応が向上することが期待される。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

学校においては、生活・学習の両面において様々な支援員等を配置しております。また、支援員の研修等を通じて、支援者間や教員と事例・課題を共有し、指導力の向上を図っています。ご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。

第3章 第3次ビジョンの内容

1 目指す将来像（意見数1件）

提案 2	「それぞれのライフステージにおいて誰もが安心して生活できる地域で社会参画が進み、多様な人材とともに都市を発展させる価値創造型の多文化共生社会を目指します」という箇所がわかりづらい。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

ご意見を反映させ、前段の文章を含めて以下のとおり修正します。

《修正内容》

〈修正前〉

「…的確に対応しつつ、これまでの生活支援などの課題解決型の多文化共生の取組を充実させるとともに、外国人材の活躍をさらに促進することで、それぞれのライ

フステージにおいて誰もが安心して生活できる地域で社会参画が進み、多様な人材とともに都市を発展させる価値創造型の多文化共生社会を目指します。」

〈修正後〉

「…的確に対応しつつ、それぞれのライフステージにおいて誰もが安心して生活できるようにこれまでの生活支援などの課題解決型の多文化共生の取組を充実させます。併せて、外国人材の活躍をさらに促進し、多様な人材とともに都市を発展させる価値創造型の多文化共生社会を目指します。」

2 推進方針・体制（意見数 1 件）

提案 3	「浜松市戦略計画の政策・事業シートによる体系的な評価」ではわかりづらい。
-----------------	--------------------------------------

【市の考え方】案の修正

ご意見を反映させ、浜松市戦略計画について脚注で「浜松市総合計画に基づき具体的な事業を示す実施計画として毎年策定するもの」と説明します。

4 重点取組

(2) 総合的・体系的な日本語教育の推進（意見数 3 件）

提案 4	地域日本語教育の体制整備をしていることをより前面に出し、周知を進めていくため、「…併用しながら構築します。国が示す「日本語教育の参照枠」をもとに「自立した言語使用者」として生活していく上で必要な日本語能力を身に付ける日本語教育体制の整備を行います。また、日本語教育に…」としてはどうか。
提案 5	日本語教育に携わる人材の活躍できる場の提供も示した方が良い。「日本語教育に取り組む人材を育成し、活躍できる場を増やします。」としてはどうか。
要望 2	(2) 総合的・体系的な日本語教育の推進の内容がわかりづらい。

【市の考え方】案の修正

「日本語教育の参照枠」は日本語能力の熟達度のレベルを示すものであり、「自立した言語使用者」(B1・B2：中級レベル)はその一つです。昨年 11 月に文化庁が取りまとめた「地域における日本語教育の在り方について」の報告では、地域における日本語教育が目指すべき日本語レベルを B1 レベルとしているため、以下のとおり修正します。

なお、「自立した言語使用者」については、解説編の「用語解説」において説明します。

《修正内容》

〈変更前〉

「…日本語を、…提供できる体制をオンラインを併用しながら構築するとともに、日本語教育に取り組む人材を育成します。」

〈変更後〉

「…日本語を自立した言語使用者として身に付けられるように、…提供できる体制をオンラインを併用しながら構築します。また、日本語教育に取り組む人材を育成し、活躍できる機会を増やします。」

5 推進施策

(1) 認め合い、手を取り合い、ともに築くまち（協働）（意見数10件）

【(1) オール浜松での取組推進】

要望 3	浜松市外国人市民共生審議会のほかに、もっと多くの外国人市民が意見を表明できるような場を設けるなどの工夫があってもいいのではないか。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

本市では、定期的に外国人市民を対象にアンケート調査を実施し、実態の把握に努めております。今後も引き続き浜松国際交流協会と連携して、外国人市民の意見を聴きながら、多文化共生を推進してまいります。

提案 6	浜松国際交流協会は市民と協働して多文化共生に取り組む推進母体でもある。市民参加で多文化共生を進めるための拠点としての機能を強化するという言い方に変えるべきではないか。
-----------------	---

【市の考え方】その他

本市の多文化共生に関する大きな拠点に、浜松市多文化共生センターや浜松市外国人学習支援センターがあります。その運営を担う浜松国際交流協会のネットワーク機能に焦点を当てて記載したものです。

【(3) 交流機会の充実による相互理解の促進】

提案 7	導入文の前段に「外国人市民を『外国にルーツのある浜松市民』として捉え、」という文言を追加してはどうか。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

該当箇所に記載の「異なる文化背景を持つ市民」には、外国にルーツを持つ市民も含め、様々な文化背景を持つ浜松市民全体を指しています。

要望 4	外国人と日本人との交流機会を増やすためには、交流団体独自の機会を増やすことが大事である。
-----------------	--

【市の考え方】盛り込み済

引き続き多文化共生や国際交流等の市民活動への助成等の支援を通して、交流の機会を充実させてまいります。

要望 5	とりわけ食文化を通じた国際交流などは関心のある市民も多いと感じる。新型コロナウイルス感染症もあるが、今後また少しずつ交流イベントが増えていくといいと思う。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

今後も、食文化を含めて様々な面から国際交流や異文化理解の機会を設けていきたいと考えております。

提案 8	市内全域、各地でイベントや小さな交流機会の創出が重要である。特に、協働センターに来てもらうのではなく、アウトリーチをしていく必要がある。協働センター単位の地域でのイベント開催等について記載が必要だと思う。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

多様な文化背景を持つ市民の相互理解の促進に向けては、様々な場面を捉えて交流の機会としていくことが望ましいと考えます。浜松国際交流協会や地域コミュニティと連携した取組を検討してまいります。

要望 6	外国人向けの支援だけでなく、日本人の意識を変えることができる支援もしていただくと本当の意味で誰もが快適に暮らせる街、浜松になるのではないかと思う。
-----------------	---

【市の考え方】今後の参考

異なる文化背景を持つ市民同士の相互理解には、日本人市民の理解促進も重要であると考えます。文化的多様性を都市の活力等とするインターカルチュラル・シティの視点からも、その前提となる相互理解の機会を充実させていきたいと考えております。

【(4) 多様性のある地域活動の促進】

要望 7	自治会からのごみ当番や防災訓練などのお知らせはすべて日本語である。翻訳ややさしい日本語版があれば外国人市民は理解しやすくなり、日本人側も案内しやすくなるので双方にメリットがあると思う。やさしい日本語がもっと浸透していくといいと思う。
要望 8	外国の方にお知らせやルールを知っていただく意味でも、せめて回覧板等の翻訳等をしてもらえるという情報について、周知徹底を図ることは急務だと思う。(外国語の翻訳やささしい日本語など)

【市の考え方】盛り込み済

外国人市民が地域で生活・共生していくためには、必要な情報を提供していくことが重要です。引き続き、自治会の回覧文書の翻訳支援や自治会からの相談対応等に取り組むとともに、転入した外国人への生活に関する案内などにおいてやさしい日本語の活用を推進していきます。今後も、より一層地域共生に関する取組を進め、外国人市民に地域のルール等の周知を図ってまいります。

提案 9	日本人市民と外国人市民の関係をつなぎながら、地域社会への参画を支援しつつ、双方が生活しやすいまちづくりに貢献するコーディネーターを協働センターやふれあいセンターに配置・育成することを提案する。また、外国人市民が多く住んでいる地域を「多文化共生モデル地区」に設定することやこれらの施策を評価していくことを提案する。
-----------------	--

【市の考え方】今後の参考

地域共生については、異なる文化背景を有するコミュニティ・住民間のパイプ役となる地域人材（ブリッジビルダー）の育成や外国人市民が多く暮らす地域の自治会等を対象に意見交換を開催をしております。今後も、引き続き地域社会での相互理解を推進してまいります。

(2) 多様性を生かして新たな価値・文化を生み出すまち（創造）（意見数 11件）

【(1) 次世代の育成・支援】

質問 1	支援を受けた生徒たちの感想・意見を聴いて、その反映を図っているのか。極めて少人数で対応できる体制を整えることが必要である。また、補助員のレベルの均一化はどのようにしているのか。
-----------------	--

【市の考え方】その他

児童・生徒の日本語能力等に合わせ、必要に応じて個別指導を実施するなどの対応をしております。また、支援員の研修等を通じて、支援者間や教員と事例・課題を共有し、指導力の向上を図ってまいります。

要望 9	青少年期の前からキャリア教育・キャリア支援が必要である。また、保護者向けの啓発も必要である。
-----------------	--

【市の考え方】案の修正

保護者向けの啓発は重要な視点であり、現在も取り組んでおります。このため、以下のとおり修正します。

《修正内容》

〈修正前〉

「外国にルーツを持つ青少年が日本において進路や職業を自ら考える機会として、…キャリア支援を行います。」

〈修正後〉

「外国にルーツを持つ青少年が日本において進路や職業を自ら考える機会として、…キャリア支援を行うとともに、保護者向けの啓発に取り組みます。」

要望 10	「外国にルーツを持つ子供たちへの教育支援」「外国にルーツを持つ青少年期のキャリア支援の充実」を行っていくことで、外国人の子どもたちの進路の選択肢が増えることを願う。
要望 11	日本語が母語であっても外国にルーツがあると、就職活動時にそのように扱われるので職に就きにくいのが現状だと思う。日本育ちの外国ルーツの若者に対して就職活動の支援が必要である。また、企業の考え方を変える活動が必要である。
要望 12	「外国にルーツを持つ青少年期のキャリア支援の充実」について、これまで以上に取り組んでいただきたい。

【市の考え方】盛り込み済

次世代の浜松を担う子供たちへの支援は重要です。外国にルーツを持つ子供が地域に定着する中、引き続き学習支援や進路情報・キャリア支援の充実を図ってまいります。また、外国人材活躍宣言事業所認定事業を通して、事業所における外国人材の確保・定着・活躍・就労環境の向上に寄与してまいります。

要望 13	日本の学校における外国人児童への心理ケアの拡大について、ブラジル人の子供たちにはポルトガル語での心理ケアを提供することが重要だと思う。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

教育総合支援センターに外国人児童・生徒の相談員や協力員が常駐し、多言語により教育相談や学校訪問等を実施しております。今後も心理的なケアについても関係機関と連携し、必要な支援をしてまいります。

要望 14	自閉症の子供が外国人の専門の先生がいる特別支援施設に入ることはとても難しい。日本の特別支援学校に通わせている保護者や子供は、学校とのコミュニケーションに苦勞しているようである。何らかの支援を考えていただきたい。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

特別支援学校において面談等の通訳が必要な場合、直接学校にお問い合わせくだ

さい。なお、新入学の外国人児童や浜松市立小中学校に在籍している外国人児童生徒等が特別支援学校に就学を希望した場合に、学校見学や入学説明会で、教員と共に相談員が同行し通訳を行い円滑な就学につなげています。

要望 15	「幼児」を対象とした支援も必要があると思う。メンタル面での支援や託児所のスタッフの質を上げるための事業が必要かもしれない。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

浜松市発達相談支援センターでは、乳幼児から高齢者まで全年齢の市民を対象に、発達について個別の相談・支援（助言）を行っています。通訳職員もおり、ポルトガル語・スペイン語の相談に対応しております。また、必要に応じて、相談者の方の在籍する幼稚園・保育園・学校等と連携しスタッフ・職員への助言にも取り組んでおります。

要望 16	外国人学校支援事業にブラジル総領事館との連携があれば、ぜひそれを加筆してはいかがか。
------------------	--

【市の考え方】 案の修正

市内の外国人学校には市から心理カウンセラーを派遣しております。在浜松ブラジル総領事館との連携につきましては、外国人学校支援事業を含め、本市の多文化共生の推進に大きな役割を担っておりますので、「第3章 第3次ビジョンの内容」の「2 推進方針・体制（1）推進方針」の1つである【オール浜松体制】を以下のとおり明記します。

《修正内容》

〈修正前〉

「行政機関をはじめ、地域づくりの主役である市民や外国人労働者を雇用する企業、多文化共生に取り組む市民団体など、多様な主体が…。」

〈修正後〉

「行政機関をはじめ、地域づくりの主役である市民や外国人労働者を雇用する企業、多文化共生に取り組む市民団体、在浜松ブラジル総領事館など、多様な主体が…。」

【(2) 多様性を活かした文化・創造活動の促進】

要望 17	外国人市民による自らの文化発信に関して、ステレオタイプな価値観を押し付けないように細心の注意が必要である。また、外国人市民が企画実施するためにはある程度の仕掛けや支援が必要である。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

外国人市民の持つそれぞれの背景から生まれる多様な価値観やアイデアを生かしていくことが重要だと考えます。また、外国人市民自らの企画に関しては、活用

できる助成を周知するなどの支援に努めてまいります。

質問 2	市として海外の音楽分野の創造都市やインターカルチュラルシティとの交流促進を意味するのか。具体的な事業のイメージはあるのか。
-----------------	---

【市の考え方】 その他

ご指摘のとおり、本市が音楽分野で加盟しているユネスコ創造都市ネットワークやインターカルチュラル・シティ・ネットワークの会員都市との連携のことで、相互の知見の交換や交流を図っていくことを考えております。

(3) 誰もが快適に暮らせるまち（安心）（意見数 22 件）

【(2) コミュニケーション支援】

要望 18	実際に日本語を「話す」「聞く」ことができて「読む」「書く」を苦手とする日本語学習者は多く、読み書き支援の必要性を感じる。外国人市民の「日本語の学習希望」を考慮し、開催場所や開催方法などの選択肢が増えるといいと思う。
------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

引き続き日本語教育に取り組み、地域や学校・企業の様々な場面やオンラインにより日本語教育を実施できる体制を構築していきます。

要望 19	日本語を十分に理解できない外国籍の方への日本語学習は、ある程度義務化することが効率的に社会活動を進めるための方法ではないかと考える。
------------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

市としましては、日本語教育を受けられる体制をより一層充実させ、多くの外国人市民に参加していただけるように努めてまいります。

その他 1	日本語教育に携わっている。日本語の「話す」「聞く」に関して、コロナ禍での 3 年間マスク着用で話す表情が伝わりにくい状態で日本語指導が難しい状況である。
------------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

今後も日本語教育に取り組む団体等が活動しやすい環境を整えてまいります。

要望 20	通訳事業に関して、市民通訳ボランティアなど市民リソースを活用したりはしないのか。
------------------	--

【市の考え方】 案の修正

通訳を含め多文化共生社会に資する人材の充実は重要です。ご意見を反映させ、以下のとおり修正します。

《修正内容》

〈修正前〉

「…多文化共生社会に資する人材の育成強化・活用を図ります。」

〈修正後〉

「…多文化共生社会に資する地域人材の育成強化・活用を図ります。」

要望 21	多言語・やさしい日本語による情報提供について、有用な情報発信には外国人市民の目線で必要な情報を取捨選択したり発信したりする必要がある。そのためには、外国人市民を情報発信者として登用していくなどの工夫が必要である。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

いただいたご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。今後とも、浜松国際交流協会と連携し、外国人当事者の目線を意識し、正確でわかりやすい情報の発信に努めてまいります。

【(3) 地域共生支援】

要望 22	日本人と外国人の心の距離が出る理由は、単純に、日本人が外国人を嫌うような事象が生じる（続く）ことがあると思う。外国人も日本人と同様に法令順守と迷惑を掛けない行動を心がけることが重要である。
------------------	--

【市の考え方】 盛り込み済

生活ルールの理解促進については、引き続き市への転入時の案内や自治会の案内の翻訳支援等を通して、多言語により外国人市民に周知を図ってまいります。

提案 10	日本で生活する上での「当たり前」を十分に理解していただくため、市への転入手続きの際に説明を受けることを必須にすることも一つの方法と考える。あるいは、それぞれの国にルーツを持ち、日本語はもちろん日本社会通念に理解のある支援者を養成し、きめ細かなサポート（有給）をすることが必要とも考える。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

生活ルールの理解促進については、引き続き市への転入時の案内など多言語による外国人市民に周知を図るとともに、その他の方法も検討してまいります。

提案 11	外国人市民は、日本の生活習慣を理解する機会が圧倒的に不足している。来日してから地域で住み始めるまでに日本の生活習慣を伝える機会が何度も必要である。転入手続きに際して日本での最低限の生活習慣を外国人市民に提供するため、通訳を備えた専門窓口を設置したり、不動産業者や外国人雇用企業に日本での生活習慣について説明するように依頼したりすることを施策に追加してはどうか。
------------------	--

【市の考え方】 今後の参考

外国人市民が日本や本市での生活に関する情報については、引き続き市への転入時に案内するなどして、周知を図ってまいります。また、2019年から相談・情報提供機能を多文化共生総合相談ワンストップセンターとして拡充し、多言語の通訳を介して様々な相談を一括して受け付けております。ご意見は今後の施策の参考とさせていただきます、今後も浜松国際交流協会や専門機関と連携して周知に努めてまいります。

提案 12	外国人が本市に転入する際に、生活に関する情報を多言語で案内することはとてもよい取組だと思う。やさしい日本語版を作成したり、きちんと読んでもらえるように口頭で伝えたりすると、より効果が高まると思う。
------------------	--

【市の考え方】案の修正

転入した外国人への生活に関する情報は、現在もやさしい日本語で案内しています。ご意見を反映させ、以下のとおり修正します。

《修正内容》

〈修正前〉

「…生活に関する情報を多言語で案内します。」

〈修正後〉

「…生活に関する情報を多言語・やさしい日本語で案内します。」

要望 23	様々な交流活動や語学講座などの場に参加する外国人に対しては啓もう活動はしやすい。一方で、そうした場に出ない層に対しては、長年住んでいる外国人にそれぞれの出身国ごとに啓もうしてもらうことが重要だと思う。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

外国人市民が地域で生活・共生していくために必要な情報を機会を捉えて提供していくことは重要であると考えます。ご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。

要望 24	外国人が犯罪に走らないような対策として、適正な賃金を払うことや差別や区別の無いように処遇することなど企業側の処遇も重要である。また、外国人側も日本人に嫌われないように努力が必要である。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

外国人市民への啓発だけでなく、企業を含む日本人市民側の理解促進も重要であると考える。ご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。

提案 13	「ブリッジ・ビルダー」に関して、市民協働を推進するために協働センターに配置されているコミュニティ担当職員への多文化共生・国際理解教育に取り組むことを追記すべきである。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

「ブリッジ・ビルダー」とは地域において異なる文化背景を有するコミュニティ間を取り持ち、住民間のパイプ役となる地域人材を指します。コミュニティ担当職員を含め市職員に対しては、多文化共生に関する研修を今後も継続してまいります。

【(4) 安心な暮らしの確保】

質問 3	「各種情報や相談対応の充実」に、「…・医療・福祉・保健・…」とあるが、「介護」は入っていないのか。
-----------------	---

【市の考え方】盛り込み済

外国人市民の高齢化が見込まれる中、今後、介護の重要度はますます高まっていますが、用語の整理として、介護は医療・福祉・保健の領域に内包されるものと認識しています。

要望 25	地域ルールを理解や義務の遂行に向けた啓発や相談対応の充実に向けて、通訳・相談員の配置を充実させ、ワンフロア・ノンストップですべての手続きができるようになると良い。そのためには職員・通訳の研修があるとよい。
------------------	--

【市の考え方】盛り込み済

本市では、2019年からは相談・情報提供機能を多文化共生総合相談ワンストップセンターとして拡充し、多言語の通訳を介して様々な相談を一括して受け付けております。また、通訳のソーシャルワークなどの研修も実施しております。なお、市役所の各課窓口等にタブレット端末を配備し、遠隔での多言語通訳によりコミュニケーション支援をしています。

要望 26	就学や社会保障、学校で受けられる支援などに関する情報をほとんど知らない家庭に対しては、就学の必要性や社会保障のメリット、学校の具体的な支援を多言語で発信できると伝わると思う。また、簡易的な動画や興味を湧くような資料で転入者への情報提供に力を入れる必要があると思う。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

外国人市民が日本や本市での生活や就学に関する情報については、市への転入時に案内するなどして今後も引き続き周知を図ってまいります。ご意見は今後の施策の参考とさせていただきます。

要望 27	子育て支援ひろばについて、通訳の配置と併せて周知にももっと力を入れるといいと思う。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

子育て支援ひろばの外国人支援については、はままつ多文化共生・国際交流ポータルサイト等で広報しています。引き続き、子育て支援ひろばの利用の促進に向けて、取組の周知を図ってまいります。

要望 28	新型コロナウイルス感染拡大以降、世界中で心のケアの必要性が高まっている。外国人に対する心理的ケアのニーズに応えるため、より多くの曜日や時間帯の提供を拡大することが重要だと思う。
提案 14	生活の困窮や子供の学校への適応問題によりメンタルケアが必要な人が多くいるのではないか。例えば、領事館等と連携し、家庭でカウンセリングを受けられるようにしてはどうか。

【市の考え方】 今後の参考

現在、ポルトガル語でメンタルヘルス相談ができる常設窓口を浜松市多文化共生センター内に開設し、相談員を配置しております。また、市内の外国人学校には市から心理カウンセラーを派遣しております。今後は、メンタルヘルスに関わる支援者の養成を実施することで、外国人市民の心理ケアに対応してまいります。

その他 2	浜松国際交流協会は生活相談や弁護士相談、入管、メンタルヘルス相談、税務相談などを行っており、コミュニティにとってはとても重要な役割を担っていると思う。
------------------	---

【市の考え方】 盛り込み済

今後も浜松国際交流協会が運営を担う多文化共生総合相談ワンストップセンターにおいて、外国人市民の生活相談等に対応してまいります。

要望 29	浜松国際交流協会に行けばいろいろな情報をもらえると、外国人から聞いた。外国人の多い地域にはこういった相談できる場所が大切だと思う。引き続き頑張ってもらいたい。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

今後も浜松国際交流協会と連携して、多文化共生社会の実現に向けて取組を推進していきます。

要望 30	「地域の生活支援・社会福祉拠点との連携」は非常に大切なことである。福祉分野との連携により、多文化共生の推進も広く進む。
------------------	---

【市の考え方】 今後の参考

本市では、今後、外国人市民の高齢化が見込まれており、福祉分野との連携は重要になってきます。ご指摘のとおり、関係機関との連携強化を図り、適切な支援につなげていきます。

提案 15	「地域の生活支援・社会福祉拠点との連携」について、既存の支援拠点がわかりづらい。具体的な施設名や事業所名を入れることはできないか。
------------------	---

【市の考え方】 案の修正

ご意見を反映させ、以下のとおり修正します。

《修正内容》

〈修正前〉

「…と生活支援や高齢者支援などの地域にある既存の支援拠点等との連携強化を図り、…。」

〈修正後〉

「…と生活支援や高齢者支援などを担う社会福祉協議会といった地域にある既存の支援拠点等との連携強化を図り、…。」

その他（意見数2件）

要望 31	机上ではなく、現場、特に、支援を受ける側の方々の意見を尊重し、浜松市民としての意識を高めていくことが真の共生につながるのではないか。
------------------	--

【市の考え方】今後の参考

これまで、公募した外国人市民等で構成する浜松市外国人市民共生審議会などの機会を設けてきました。今後も浜松国際交流協会と連携して、外国人市民や多文化共生に取り組まれている市民・団体・事業者等の関係主体と情報共有・意見聴取をしながら、多文化共生を推進してまいります。

要望 32	非常に心強い方針と理解した。一方で、このような地域密着型の活動においては、積極的かつ丁寧なアウトリーチや伴走型支援が必要となる。それらを支えるための基盤強化として、長期的かつ計画的な人的資源や予算の確保が十分に考慮されるよう願う。
------------------	---

【市の考え方】今後の参考

ご指摘のとおり、現前の課題等に取り組みつつも、長期的な視点を持つことも重要です。本ビジョンに基づき、体系的に多文化共生施策を推進してまいります。